

日本語日本文学（国語学）

◇教員◇

教授 肥爪周二、小西いずみ

准教授 林淳子

助教 小池俊希

◇学生◇

学部 24名 修士課程 19名 博士課程 27名

（大学院学生数は、日本語日本文学専門分野としての総数）

（1）「日本語日本文学（国語学）」専修課程とは

「国語学」というのは、「日本語学」と呼ばれることもあるように、日本語を一つの言語としてその構造や歴史を研究する学問領域です。

国語学は、文学作品を対象とする国文学（日本文学）とは別の学問ですが、特に日本語の歴史的研究においては古典文学研究と資料面で共通するところが多く、また、一方は言語を通して一方は文学を通してという違いはあるものの、ともに日本の文化を研究するという共通性をもつことから、専修課程としては「日本語日本文学」という共通の名称を冠した上で「国語学」と「国文学」に分けています。しかし、学問としての目的や方法、それを達成するために身に付けるべき知識や技能も、国語学（日本語学）と国文学とは大きく異なります。

近代国家としての日本において、事実上の公用語・国語として用いられてきたのが日本語であることから、日本語を研究する学問の名称としては伝統的に「国語学」が用いられてきました。私たちの研究室は、国語としての日本語の研究のために設置された日本最初の研究室です。しかし日本語は必ずしも日本国内でのみ使われ研究されるわけではないことから、近年では「国語学」ではなく「日本語学」と呼ぶのが普通です。こうした歴史的背景をふまえて、専修課程の名称としては、現代のありかたにふさわしい「日本語」を用いるとともに、「国語学」という伝統的名称をカッコにくくって残したものとしています。

（2）「日本語学（国語学）」とは

「日本語学（国語学）」は日本語を一つの言語としてその構造や歴史を様々な角度、観点から研究する学問です。日本語学（国語学）は、日本語という言語を対象にした言語学の一領域であり、その内容は、高等学校までの「国語」とは大きく異

なります。

「日本語学（国語学）」は、大きく、現代語の研究と歴史的な研究に分けられます。**現代語の研究**では、現代の日本語の“しくみ”を明らかにすることが中心となります。これには、いわゆる「標準語」のほか、様々な地域の方言を対象とした研究も含まれます。**歴史的な研究**では、その“しくみ”がどのように変化してきたのかを明らかにします。日本語には奈良時代以降の豊富な書き言葉資料があります。これほどの歴史的資料を持つ言語は世界的に決して多くありません。

日本語学（国語学）の分野としては、日本語の言語体系を構成する各領域に対応して、文法論・意味論・語用論・語彙論・音韻論・文字論などがあります。また、大規模な言語データベースを構築しそれを用いて研究を行うコーパス言語学、社会と言語の関わりを扱う社会言語学、研究の歴史を扱う国語学史があり、さらに応用・発展領域として日本語情報処理や日本語教育学などもあります。学生は、このような広がりの中から、各自の興味と関心に従って自由に研究テーマを設定することができます。

（３）各教員の専門分野と授業内容

授業は講義と演習とに分かれています。

講義では、音韻・文法などの領域（（２）を参照）に関して、各時代・諸地域の日本語の実態やそれを知るための資料や方法について、解説・検討します。講義は、各領域の基礎的な内容を広く学ぶ「概論」と、特定の領域・テーマについてより詳しく学ぶ「特殊講義」に分かれます。

演習では、各時代の文献や諸方言の資料を参照して言語事実を正確に把握する方法の習得を目指したり、専門の研究論文の読解・検討を通して言語研究の視点や理論の理解・習得を目指したりします。基本的な進め方や方法について教員が解説したあと、学生自身が講読文献の分担箇所について報告したり、自身で設定した研究課題について発表したりします。

国語学専修課程には現在４名の専任教員がいます。その専門分野と近年の授業内容は、次のとおりです。

肥爪周二（ひづめ・しゅうじ）**教授**は、悉曇学（仏教におけるインド語学およびその影響のもとに発生した日本語音韻学）を中心とする日本音韻学史、悉曇資料・漢字音資料による日本語音韻史の研究を行っています。

小西いずみ（こにし・いずみ）**教授**は、日本語の様々な地域の方言の音韻・語彙・文法の研究や、社会言語学的な研究を行っています。これらの研究では主にフィールドワークで集めたデータを扱います。

林淳子（はやし・じゅんこ）**准教授**は、日本語の文法論を専門としています。現

代語文法の記述および文法構造の理論的研究、また、その知見に基づく文法史の研究も行っています。

小池俊希（こいけ・としき）**助教**は、奈良時代から鎌倉時代にかけての日本語史資料を対象として、文法の研究を行っています。

このほかにも、日本語学（国語学）の多様な分野をカバーするために、毎年、複数の非常勤講師による講義が開講されています。最近の非常勤講師の講義は、次のとおりです。

年度	講師・講義題目
2025	・久保田篤講師「江戸時代語研究」
	・川瀬卓講師「副詞の歴史的研究」
	・五十嵐陽介講師「日本語音韻論：日本語・琉球諸語の韻律(アクセント)体系」
2024	・齋藤文俊講師「漢文訓読と近代日本語の文体」
	・櫻井豪人講師「翻訳語研究—洋学資料の外来語と翻訳語—」
	・森山卓郎講師「文法的文章論」

（４）当専修課程における学習活動

文学部に進学してから卒業までに必要な単位は76単位ですが、当専修課程においては、そのうち「国語学概論」、「国語学特殊講義」、「国語学演習」、「言語学概論」、「国文学特殊講義」など計32単位と、「卒業論文」または「特別演習」12単位、合計44単位が必修です。残りの32単位は、どの学部の中の授業からも選択することができます。

「**国語学特殊講義**」や「**国語学演習**」は、多数開講されている中から自由に選ぶことができます。（3）に記したとおり当専修課程には、日本語の歴史的研究、現代語の研究、方言の研究をそれぞれ専門領域とする教員が所属しており、さらに非常勤講師の授業を含めると様々な領域の授業をバランスよく学ぶことができる体制が整っています。最初は限られた領域だけでなく幅広く多様な領域に触れ、その中から自分の興味のある領域やテーマを見つけることが望ましいと言えます。

学生は、講義や演習を通じて様々な問題に出会いつつ、必要に応じて教員に相談しながら、おおむね4年生のはじめまでに**卒業論文**のテーマを各自で決めます。指導教員の日常的な指導のほかに、5月には卒論の題目発表会、7月には研究計画発表会、さらに10月には中間発表会があります。これらの機会にもらったアドバイスを踏まえて、1月初旬の締切まで論文執筆に奮闘することになります。卒業論文を執筆するという経験は、文学部生活最大の思い出となるでしょう。

最近の卒業論文として、次のようなものがあります。日本語学とはどのような分野なのか、2年間の学習・研究の集大成としてどのようなことができるのかの一端がつかめるでしょう。

年度	題 目
2025	<ul style="list-style-type: none"> ●〔特別演習〕 方言文法全国地図の略図作成／小説作品における表現の日英比較 ● 戯曲作品にみるレトリックと比喩表現の相互作用—三島由紀夫『わが友ヒットラー』を踏まえて— ● 「三河弁」はどのように語られてきたか ● 現実会話とフィクション会話の属性表現的視点からの比較—母娘の雑談的談話を例として— ● 日常会話における「誤用」の使用実態 ● 日常談話における終助詞の機能 ● 丁寧な行為指示表現における接尾辞「ませ」の史的変遷 ● 例示表現「などの」「といった」「ような／みたいな」の使い分け—語本来の性格・特徴に着目して— ● 言葉の性質を利用した遊びの分析—小林賢太郎『THE SPOT』より「ない慣用句」を題材に— ● 丁寧表現「ます」の近代における使用実態 ● VTuber 特有の発話における特徴について ● あいづちの種類と運用に関する日本語と韓国語の対照研究
2024	<ul style="list-style-type: none"> ● 『天草版平家物語』における助動詞タリとタの使い分けについて ● 近代語における四字熟語の副詞用法と後続形式 ● 『台湾万葉集』に見られる文法及び語彙的特徴—「がに」「がの」の使用に着目して— ● 現代日本共通語における文末形式ンダヨナの使用実態について ● 『昭和話し言葉コーパス』における助動詞ラシイ ● 知覚動詞「見る」「見える」の表現効果の差違 ● 「必ずしも・あながち・一概に」の意味記述 ● 卓球用語の日本語学的研究 ● クイズの問題文における名詞修飾の構造 ● 語の親密度は何に規定されるのか ● 三重県北勢方言における動詞否定辞の変異とその選択要因 ● 山梨県奈良田方言における呼びかけイントネーション ● 第三者敬語の運用に関わる要因—岡崎敬語調査データの分析—

卒業論文を書かず、**特別演習**を履修して卒業することもできます。これは日本語に関するデータ採取、研究文献精読、古い文献の翻刻などを2科目行うものです。

卒業後の進路としては、大学院への進学のほか、マスコミ・IT企業・コンサルタント業などの一般企業への就職、国家公務員・地方公務員、中学や高校の国語科教員などの道があります。社会に出る者も将来研究を続ける者も、学部学生の2年間、私たちがそれによって生活している日本語について客観的・分析的に捉える視座を学び思索を深めることは、何にも増して有意義な経験となるでしょう。